



昨年度から福祉施設合同説明会（令和5年度、6年度の開催）は開催してきましたが、実際に事業所を見ていただく機会を設けることができずにいました。「百聞は一見に如かず」、ついに10月29日に保護者事業所見学会を開催しましたのでその様子をご紹介します。

保護者事業所見学会

新型コロナウイルス感染症以降、久しぶりに行われた「保護者事業所見学会」は、中学部の保護者6名、高等部の保護者4名の計10名で4ヶ所の「就労継続支援B型事業所」を見学しました。

社会福祉法人拓心会 就労センターステップⅠ

「就労センターステップⅠ」では、朝のミーティングの様子から見学させていただきました。バイタルチェックから始まり、一人一人の顔を見て、その日の作業分担の確認を行い、作業を開始していました。活動内容は、クリーニング業務、アパレル関係作業、フルーツネット作業です。右上の写真は、アパレル関係作業の一つで、型を使ってたたんだTシャツを袋に入れたものです。右下の写真は、クリーニング作業で、洗濯し終わったタオルをたたむ作業です。



見学中、保護者の皆さんからたくさんの質問がありました。実際に働いている場を見ることの大切さを感じました。また、利用者さんたちが黙々と仕事をしている様子や、一人一人に丁寧に対応している様子に、皆さん、感心していました。



有限会社大裕 就労継続支援B型事業所 チョコエルム

「チョコエルム」では、近年の卒業生も何人か働いており、お互いに見知った顔で、アイコンタクトをしながら、和やかな雰囲気での見学となりました。業務のリサイクル作業では、食器の梱包や箱詰め、ホタテ網の解体などを行っている様子を見学しました。作業中は終始アットホームな雰囲気で、利用者の方々が、楽しんで仕事をされている様子を見て、「とても安心した」という感想をもたれていました。チョコエルムでは、昼食代が無料であることや、毎月行事を行っていること等の、説明を聞きました。作業内容の他にも送迎や働く時間帯等に関する質問も多くされていました。



株式会社 CocoRa

「CocoRa」では、BGM が流れる静かな空間で、主にパソコン入力の様子や e-ランニングを使っての学習の様子を見学しました。また、銅線剥離作業では、被覆材に切れ目を入れる様子に皆さん興味津々でした。



「Cafe NoMA」で昼食タイム！

昼食は、「Cafe NoMA」で美味しい食事やデザートをいただきました。とてもおしゃれな空間で、保護者さん同士で情報交換をしました。たまには心を解放してのんびりする時間も大切ですね。



特定非営利活動法人 MUGEN 就労継続支援 B 型事業所 TOWA

午後は、「TOWA」の見学です。初めに事業についての説明がありました。カフェやコンビニエンスストアでの訓練など、より社会に近い環境の中で「働く経験」を積み重ね、それぞれの可能性を引き出しているとのことでした。説明後の「セブン訓練」や事業所内での働いている様子を見学しました。コンビニの従業員か、TOWAの利用者か分からないほどしっかりと働いていることに驚きの声が聞かれました。



今回の見学会では、保護者の皆さんが、それぞれの見学先で熱心に作業の様子を見たり、質問したりしていました。また、移動の時間や昼食時には、情報交換をする貴重な場にもなったようです。

終了後のアンケートには、「もっと早くに見学できたらよかった」という声もありました。次年度以降も保護者事業所見学会を計画していきたいと考えていますので、早い段階から「働く場」を実際に見ていただければと思います。

バスの中での進路指導主任の話から

「実習先の希望を・・・」と学校から聞かれても、「どんなところがあるか分からない」という声をよく聞きます。「どんなところがあるか」よりも「どんなことがしたいのか」が分かれば、学校から事業所の候補を挙げることも可能です。ぜひ日ごろからご家庭で進路について話題にしてください。

高等部3年生になると、後期の実習後、実習の評価をもとに面談を行います。その後、進路が確定するまで、必要に応じて追加実習を繰り返します。働くのは生徒本人なので、本人の希望が叶うように、進路指導を行っていきます。

進路のことで不安なことや、分からないことなどがあれば、いつでもご相談ください。また、見学したい事業所等があれば、個別での対応もしていますので、気軽にお知らせください。